

短期生活体験住宅(おためしハウス)

移住先を検討する手段として、町の様子を知り、暮らしぶりを体験していただく、短期生活体験住宅を用意しました。教員住宅を改修した1戸建て住宅で、家賃、光熱費、レンタル家具代をセットにしてお手軽な料金で提供しています。

おためしハウス豊河



- 市街地型／一戸建て／2Kタイプ
(2K：居間14帖+和室4.5帖
／延べ49.59㎡)
- コンロ：IHヒーター
- 給湯：灯油ボイラー
- 暖房：石油FFヒーター



おためしハウス黒岩



- 郊外型／一戸建て／2LDKタイプ
(2LDK：居間9帖+食堂6帖+
和室6帖+和室6帖
／延べ73.36㎡)
- コンロ：IHヒーター
- 給湯：灯油ボイラー
- 暖房：石油FFヒーター
- 冷房：エアコン



移住者用無償分譲地 平成29年度で廃止



移住事業に賛同された住民から寄附していただいた住宅用地を、当町へ移住していただける方に住宅の新築を条件に無償提供しています。



八雲町空き家バンク

町内の空き家を売却・賃貸したい人(所有者)と購入・賃借したい人(住み替え・移住希望者)とのマッチングを図るための制度です。

- 窓口：建設課管理係

TEL：0137-62-2115 FAX：0137-62-2120

e-mail：kensetsu@town.yakumo.lg.jp

HPアドレス：http://www.town.yakumo.lg.jp/modules/akiya/



移住者と移住サポーターとの交流会

移住者同士や移住施策に協力してもらっている団体及び個人からなる移住サポーターや八雲町移住推進協議会構成員との親睦を深める為、年に1回交流会を開催し、移住者が地元住民と気軽に話すことができる場を提供しています。



移住に関するQ&A

Q 八雲町で働くには
どうしたらいいですか？

A 八雲町ではホタテの養殖が盛んで、3月から6月にかけて稚貝をロープに吊るすための「耳吊り作業」が行われます。この時期は、いろいろなホタテ養殖業者が求人情報を出しています。また、大きな医療機関と商業施設、水産加工施設がありますので、このような求人情報は全国のハローワークで随時得ることができます。

Q 農業を始めたいのですが。

A 当町は、農業がとても盛んですので、学ぶにはうってつけです。町独自の新規就農者支援制度もご用意していますので、就農をお考えの方は、ご相談ください。

Q マイカーは必要ですか？

A 八雲市街地にお住まいであれば、商業施設や公共機関へ徒歩で行けますが、郊外へお住まいをご希望でしたら、マイカーは必須です。JRや路線バスはありますが、ルートが限られてるほか、本数も少ないので、マイカーがあると便利です。



Q 住宅はどのように探せばいいですか？

A 町内の不動産業者であれば、地元の情報を多く持っており、専門的な知識に基づいてアドバイスもしてくれます。また、当町では空き家バンクもありますのでぜひご活用ください。

Q スーパーはありますか？

A 町内には、スーパーが3カ所あり、ホームセンターやドラッグストア、大型電気店などもあります。また、地元で採れた野菜などが手に入る「産直市」も定期的に行っています。コンビニなどもありますので、ちょっとした買い物もすることもできます。



Q 移住するには
何から準備すればいいですか？

A まずは、当町のことをよく知ってもらうためにも「おためしハウス」のご利用をおすすめします。町の様子を実際に体験できる施設を市街地型と郊外型の2棟をご用意しています。最長1ヵ月間、お手軽な価格でご利用できますので、八雲町の生活を実際に体験してみてください。

Q 移住後、地域住民と
うまくやっていたら不安です。

A 誰も知らない土地では、不安がつきものです。まずは町内会に加入しご近所さんとの交流を深めるのが一番です。また、当町では、「移住された方とサポーターとの交流会」を毎年1回行い、移住者と地域住民との親睦を深める機会を設けています。